

東関東協組だより



(第47・48号)
合併号

創刊 平成22年4月15日発行

東関東生コン協同組合
〒120-0036
東京都足立区千住仲町19番8号太陽生命千住ビル
電話番号(03)3879-5141
発行責任者 戸島 伸一

～ 協組スケジュール ～

- 1月19日 執行部会・常任理事会
- 20日 営業全体会議
- 26日 執行部会・常任理事会
理事会
- 2月 2日 執行部会・常任理事会
- 9日 執行部会・常任理事会
技術部会
- 10日 営業全体会議
- 16日 執行部会・常任理事会
理事会
- 3月 2日 執行部会・常任理事会
- 9日 執行部会・常任理事会
技術常任部会
- 10日 営業全体会議
- 16日 執行部会・常任理事会
- 23日 執行部会・常任理事会
理事会
- 30日 執行部会・常任理事会



2022年 新年挨拶



理事長 諸角 富美男

明けましておめでとうございます。

日頃は、東関東生コン協同組合の共販活動にご協力を頂き、誠に有り難うございます。

昨年、一昨年と新型コロナウイルスのパンデミックに踊らされた毎日となりました。

我々の企業活動を始め、一個人としても生活の全てにおいて、コロナ感染防止対策が優先する日々となりました。

ようやくコロナとの共生にシフトしており、世の中も一定の落ち着きを取り戻している様子ですが、まだ安心はできない状態です。

本来ならば、一年の始まりは北千住の協組事務所で登録販売店の方々や組合員各社、他の関係者をお招きして、『新年賀詞交歓会』を恒例行事として開催しておりましたが、今回は中止させて頂きました。

さて、生コンの需給関係では、令和3年度出荷数量は年初想定42万³m³(上期21.4万³m³、下期20.6万³m³)に対して、上期実績21.5万³m³(想定比100%、前年比118%)となりました。

下期については想定数量を割り込む滑り出しとなっておりますが、物件の端境期の現象によるもので、年度末にかけて数量は回復傾向にあります。

市況対策では、昨年6月からの1,000円/m³の値上げ達成に協組が一枚岩となって取り組んでいるところです。

ゼネコン各社や登録販売店各位のご支援の下、着実に価格のアップが実現しております。建設物価調査会や経済調査会の調査にもこうした実績は反映されるものと考えております。

また、ご存じのとおり昨年10月下旬から2,000円/トンを超える大幅なセメント値上げが発表されており、骨材購入価格も出荷ベースで大幅な値上げが今年度実施済みとなっております。

こうした資材コストのアップに留まらず、備車費用の高騰による運送コストや働き方改革に対応する人件費、残コン等の廃棄物処理費用など原価アップ要因は山積しています。

つづく

一方、我が身を切る改革として構造改善事業にも積極的に取り組んでいます。今年度から2年間の期間限定で“設備解体支援金を2倍に引上げ”した規定の改定を致しました。また慣例を破り、構造改善委員長に理事長である私自身が就任して、事業の旗振りを行なっています。

その他の今年度の課題としては、“スライド検討WGの立上げ”“デンサイ導入の検討”“生コン保険の検討”“残コンと戻りコンの対策”を各委員長に指示しており、今年中に一定の目途をつけたいと考えております。

また、「低炭素型コンクリート」に関する問合せが非常に増えてきております。東関東協組でも出荷実績はありませんが、複数のゼネコンや商流から問合せが来ています。

地球全体がCO₂削減にカジを切る方向で有り、東関東としてもそうした動きに積極的に対応すると共に、必要な設備改造や品質を保証するノウハウ等の蓄積に一層の努力を行なう予定であります。もとより当協組単独で行なう行動には限りがあるテーマで有り、関東1区全体で顧客対応が可能な態勢の構築を目指してまいります。

結びに、東関東生コン協同組合に関わる全ての皆様のご健勝とご隆盛を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

《理事交代》

10月27日付

就任理事名	退任理事名	会社名
岡村 一弘	張替 幹雄	横山産業株式会社

《理事就任挨拶》

岡村 一弘 理事

この度、理事に再び選出頂きました横山産業株式会社の岡村一弘と申します。

新型コロナウイルスの新規感染者数も減少に向かいつつあり、経済活動も再開されましたが、生コン業界を取り巻く環境は日々厳しさを増しております。

このような状況ではありますが、皆様と一致協力し乗り越えていきたいと思っております。

東関東協組の発展に貢献できるよう微力ながら力を尽くす所存でございます。どうぞよろしくお願ひ致します。



《 理事紹介リレー 》

「月に二時間」



首都圏コンクリート株式会社
常務取締役 真地 実



私には趣味と言える程のものはなく、強いて言うのなら車(旧車)を見に行ったりするのが好きな位である。

或る日、妻が「これやってみたら?」と、あの毎号届くという本の創刊号を買ってきてくれた。スカイラインGTRのプラモデルを毎回組み立てていくものである。「やるなら注文しておいてあげるけど、お金は自分で払ってね。」と妻は言った。表紙には三百九十円とある。「分かった。」と答えると、妻から「二号からは二千元位になるよ。」と言われたが、何も分からない私は、まあ月に二千元ならと思っていた。

試した事のある方はお気づきだろうが、一ヶ月に届くのは四冊であった。二千元近くするものが四冊である。しかも部品がちよろっと入っているだけである。騙された訳ではないが、騙された気分である。ぶつぶつ文句を言っている私の横で、妻が「ちなみに完成までに三年位らしいよ。」と、のほほんとのたまっている。「はあ」と思ったものの、きちんと情報を得なかった私が間抜けであったと思い、毎月ちまちまと二時間位かけて作っているが、なんと高い買い物であるかと毎回思う。しかしやめる事は出来ないのだ。完成させなければゴミになってしまうのである。あとは完成を夢見るしかない。

そんな或る日、接着剤が必要と書いてあったのを思い出して買った。そして日曜日の朝早くからさあ作るかと組み立てていると、接着剤を使うところがあり、買って置いてよかったと思いつつながら接着剤を探したが、ない。確かに買ったのだ。それは覚えているが、しまった場所が思い出せない。しばらく探したが見つからない。しかし今使いたいのだ。朝六時にコンビニで接着剤を買った。そして今月も作業終了となり嬉々として後片付けをはじめ、接着剤をしまおうと引き出しを開けると、ありました、接着剤。

なんという事でしょう。普段から皆に、整理整頓、使ったら元の場所に戻しなさいと言っているにもかかわらず、この有様である。妻の「自分はいいいんだね。」という声が聞こえてくる様である。

そして件のスカイライン、完成すると結構な大きさになる。狭い我が家の一体どこに飾ればいいのか。

残コン・戻りコンの削減にご協力を!!



現在、東関東生コン協同組合では、年間出荷数量の約2%もの残コン・戻りコンが発生しており、7,500m³程度の生コンが無駄となっており、アジテータ車4.25m³換算で約1,765台分に相当し、セメント、骨材などの原材料輸送や産業廃棄物処理に係る車両の燃料等が無駄に消費されています。

また、これにより発生する産業廃棄物は13,481トンと推定され、運搬に係る車両(10トン積)は、延べ約1,348台も必要となっています。

産廃運搬車両の燃料由来のCO₂は、年間212トンとなり、体積換算では110,000m³に相当し、環境面からも決して望ましい状態とはいえません。

一方、産廃処理業者の減少や処理場の容量に限りがある事から、処理費用は高騰を続けるとともにこのままの量の処理を長期にわたり続けることは不可能と考えられます。

環境負荷低減、資源の有効活用並びにコスト削減の観点から、残コン・戻りコンの発生抑制をお願いしてまいりましたが、事態は改善されているとはいえません。

当協組では少しでも残コン・戻りコンの発生を抑制するため継続して以下の取り組みを提案してまいります。

需要家の皆様方にも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な取り組み内容

1. 納入工場との緊密な連絡体制
2. 必要数量の正確な計量と発注数量の徹底管理
3. 打設途中での必要残数量の確認
4. 最終打設分発注時の必要数量の精査

2021年度実績

月	2020年度実績	前年実績比	2021年度想定	2021年度実績	前年実績比	想定比
4	37,710.35	146.96	37,000	44,346.95	117.60	119.86
5	25,130.75	94.89	36,000	32,580.50	129.64	90.50
6	26,954.65	81.38	36,000	30,899.70	114.64	85.83
7	32,712.25	81.89	35,000	35,287.10	107.87	100.82
8	27,555.05	76.42	35,000	30,249.20	109.78	86.43
9	32,153.30	68.33	35,000	41,281.70	128.39	117.95
上期合計	182,216.35	87.47	214,000	214,645.15	117.80	100.30
10	27,567.05	56.97	36,000	30,687.25	111.32	85.24
11	22,705.90	72.35	34,000	26,903.20	118.49	79.13
12	29,769.40	95.90	36,000	23,337.35	78.39	64.83
1	37,598.55	125.51	33,000			
2	31,176.25	85.46	33,000			
3	40,335.90	98.90	34,000			
下期合計	189,153.05	86.75	206,000	80,927.80		
年度計	371,369.40	87.10	420,000	295,572.95		

《ぶらり東関東》

北千住飲食店紹介 (No.14)



緊急事態宣言も明け、久しぶりの北千住飲食店紹介になりましたが、プランクもあり、お店がなかなか決まりません。そんな中、そうだ!!困った時の一步グループさんがあるじゃないですか!!

そこで今回、一步グループの数あるお店の中から、お邪魔させて頂いたのは「つづみの一步」というお店です。入ると、まず奥まで長いカウンターが続いているのが印象的です。ここのお店の名物は串物という事で、豚肉で巻いた野菜で、肉巻きではなく野菜が主役?なのか「野菜巻き」があり、それは、食べてみると重々しくなく、どれもサクッと食べられ豚肉との相性がとても良く全種類食べたくになります。他にも勧めは裏名物でもある焼餃子・水餃子です。飲み物も一通り揃っていて飽きさせません。

北千住界隈で、飲む所でもし迷った時も一步グループのお店があれば鬼に金棒でしょう。

感染対策をとりつつ、下町の雰囲気味わいながら少しだけほろ酔いになるのはいかかでしょうか?

監修: (株)一步



住所: 足立区千住2-61
(北千住駅西口より徒歩2分)

電話: 03-6806-2205
営業時間: 17:00~24:00
定休日: 年末年始(12月31日~1月4日)
座席数: 37席
URL: <https://ippoippo.co.jp/>